

バス路線の見直しについて

Q 今議会冒頭の市政執行の概要で、市から東武バスに

対し、8月25日と10月18日の両日市内バス路線網の見直しについて要望したとあります。亀有行きバス路線については、地域の方々から1時間に1本でも再開して欲しいとの声も寄せられています。要望の内容・結果についてお聞きします。

鹿野 泰司

A 8月25日には、①南川崎を經由して、亀有駅へと結ぶバス路線の運行を再開すること②二丁目・南川崎地区を經由して、八潮駅へと結ぶバス路線の増便について要望を行いました。

亀有駅行きバス路線の再開については、南川崎地区が八潮駅に近いため、運行経路を変更したとしても、要望が多いところから潮止橋北停留所で乗り換えの際は、乗り換え時の初乗り運賃を免除することについて検討したいとのことでした。10月18日には、これらを含め11項目について行いました。また、市民からの要望については、伝えていきたいと存じます。

大瀬運動公園サッカー場の整備について

Q 市内で唯一サッカー場と呼ばれる大瀬運動公園サッカー場が本来のフィールドの大きさを確保していないため、防球ネットを早急に整備していただきたいと思いますが、市の考えをお伺いします。

服部 清一

A このサッカー場は、南側と北側にゴールを配置するレイアウトになっております。また、南側ゴールは、ソフトボール場に隣接、北側ゴールは、市道を隔てて民有地の畑に隣接しているため、高さ5メートル延長25メートルの防球ネットを設置しています。

しかし、ボールがゴールバー

を越えた場合は、防ぎきれず畑に入り被害を与えたと聞いています。このため、ゴールを15メートル南に移動して90メートルのフィールドで利用していただいています。近隣の畑の所有者に迷惑をかけないためには、防球ネットを8メートル以上の高さにする必要があると想定されます。厳しい財政状況ですが、多くの人にサッカーを楽しんでいただくために、対応したいと考えています。

個人住宅の耐震診断・耐震改修への対応について

Q 住宅の耐震が問題とされ、個人住宅の耐震診断や耐震補強工事に助成する自治体が増えています。木造住宅の耐震診断、改修に向けて助成制度のお考えを伺います。

瀬戸 知英子

A 埼玉県では、「勤労者住宅資金」の融資制度が設けられております。また、住宅金融公庫では、増改築等の改修工事を対象に「リフォーム融資」があります。本市におきましては、改修及び増築工事を対象に「八潮市住宅改修資金補助金」を設けています。市といたしましては、現行の耐震基準に適合しない昭和56年以前に建築された建

築物の耐震性の向上を推進するためには、助成金は施策の一つとして有効なものと考えています。しかし、新たな助成制度の創設につきましては、現在多くの行政課題を抱えている中、大変困難なものと考えています。今後、耐震診断や改修の重要性を踏まえまして、建築物の耐震化の普及、啓発に努めてまいります。

将来の八潮市のPRについて

Q 近年まれに見る発展を遂げようとしている八潮市を

宇田川 幸夫

いもつと好きな街になるようにPRして、人口の増加、経済の発展のために、宣伝活動を行うてはどうでしょうか。そして、さらにホームページの充実をしてはいかがでしょうか。

A 八潮市の発展のためには、人が集まって来るのをただ待っているのではなく、たくさんの人たちに知っていただき、八潮に住みたい、働きたいと興味、関心が持てるよう積極的にPRすることが大切であると思

います。市のPRとしては、広報紙、ホームページによる情報提供、パブリシティとして報道機関への情報提供など実施してまいります。特に、インターネットが普及している現在、多くの人への情報提供の手段として、ホームページは、有効な媒体の一つと考え、今後は、興味、期待、夢などが持てるような市の情報の質・量を精査しながら、ホームページの充実を努めていきたいと考えています。

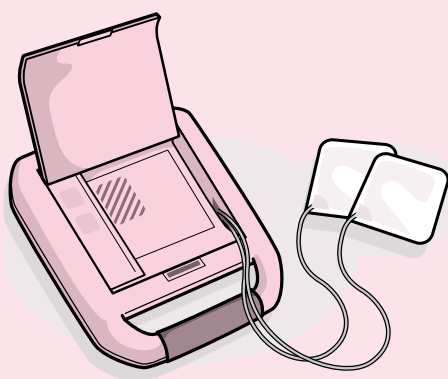
AED(自動体外式除細動器)について

Q AEDが医師や救急救命士に限らず、誰でもが使用できるようになって1年余り

小倉 順子

です。市役所・消防署・駅・学校等に救命の道が広がっていく中、本市においての購入予定についてお伺いします。

A 本市といたしましては、特に多くの市民の方々が集まる公共施設を中心に設置する必要性が高いものと認識しております。このことから、迅速かつ安全にAEDを使用できるような体制づくりも含め、AED設置に係る予算化について検討しているところでございます。



コミュニティバス運行の見直しについて

Q 市内循環バスにかわって、有料のコミュニティバスが

郡司 伶子

運行されています。多くの市民から見直しの声があり、早急にアンケートで実態調査し、市民の声を生かした運行へと、見直すことについて伺います。

A このバスは、八潮駅を発着することで、朝夕を中心として通勤通学に利用することができ、特にバス交通不便地域の方が八潮駅を利用する場合には、大変利便性が高いバス路線となっております。また、可能な範囲で公共施設、福祉施設の近隣を運行しているため、活用

していただきたいと考えております。市民アンケートは、市内を運行するバス路線全体を対象に利用動向調査として、18年度に実施することを検討したいと考えています。

